### 第2節 総合的な環境保全行政の推進

#### 1 奈良市環境基本条例

本市は、平成11年(1999年)3月に「奈良市環境基本条例」を制定しました。この条例は、環境の保全と創造に関する基本理念を定め、市・事業者・市民・観光客等各主体の責務を明らかにするとともに、環境の保全と創造に関する施策の基本となる事項などを定めており、環境の保全と創造に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、現在及び将来の市民の安全かつ健康で文化的な生活の確保に寄与することを目的としています。

#### 2 奈良市環境審議会

環境基本法第44条では、市町村は、その市町村の区域における環境の保全に関して、基本的な事項を調査審議させる等のため、その市町村の条例で定めることにより、環境保全に関し学識経験のある者を含む者で構成される審議会等を置くことができると定められています。

本市では、昭和46年(1971年)8月から奈良市公害対策審議会、平成6年(1994年)8月から奈良市環境審議会として本市の環境行政に関する基本的事項を審議しています。

#### 3 奈良市環境基本計画

平成11年(1999年)3月に策定された「奈良市環境基本計画」は、奈良市環境基本条例第9条に基づき定めるもので、本市の総合計画を環境面から総合的、体系的に推進し、環境の保全と創造に関する各分野の施策、事業の基本となる計画です。

さらに、平成27年(2015年)12月に開催された気候変動枠組条約第21回締約国会議(COP21)において新たな法的枠組みとなるパリ協定が採択される等、国際的な地球温暖化対策や国のエネルギー政策が大きく見直されている情勢の変化に対応するため、平成29年(2017年)3月に計画の中間見直しを行いました。

#### (1)計画の期間

平成24年度(2012年度)から令和3年度(2021年度)までの10年間

※中間見直し後の計画期間は平成29年度(2017年度)から当初計画終了年度である令和3年度(2021年度)までの5年間としています。

(2)望ましい環境像と分野別将来像



望

ま

い

環

境

像

## 歴 史 ع 自 然 に 恵 ま れ 環 境 ع 対 話 す る 安 全 安 心 な ま ち 奈 良

#### 【分野別将来像】

#### 【基本施策】

#### 【施 策】

- 地球温暖化対策 「古都奈良で目指す低炭 素社会」
- 1 省エネルギーの 推進
- (1) 家庭における省エネルギー (2) 事業所における省エネルギー (3) 交通機関の省エネルギー
- 2 再生可能エネル ギーの利用
- (1) 太陽光発電の普及拡大
- (2) その他の再生可能エネルギー
- その他地球温暖 化対策の推進
- (1) 地球温暖化対策のための「見える 化」
- (2) その他の地球温暖化対策

2. 自然環境 「全ての命を大切にし、自 然と共生するまち」

「世界に誇れる歴史・文化

を活かし、未来へ引き継

「きれいな水と空気・緑に

囲まれた、健康で快適な

「『もったいない』の心を

大切に、ごみゼロを目指

した循環型都市の実現」

生活環境の実現」

3. 歴史環境

ぐまち」

4. 生活環境

5. 資源循環

- 自然環境の保全 と創造
- (1) 緑の保全 (2) 生物多様性の保全
- 2 農林業の振興
- (1) 森林の保全と活用
- (2) 地産地消の推進
- 歴史・文化遺産 の保護と活用
- (1) 歴史的文化遺産の保護と活用
- (2) 歴史的景観の保全
- (3) 伝統文化・技術の保全と発信
- 1 大気環境の保全
- (1) 監視体制の整備及び強化
- 2 音•振動•臭気環
- (1) 監視体制の整備及び強化
- 境等の保全
- (2) 良好な生活環境の保全推進 (3) 快適な音かおり風景の保全と啓発
- 3 水環境の保全
- (1) 監視体制の整備及び強化 (2) 水質改善対策の推進
- (3) 水道水源の保全
- 4 その他の生活環 境対策の推進
- (1) 有害化学物質などの対策 (2) 環境影響評価
- 一般廃棄物対策
- (1) ごみ減量・リサイクルの推進 (2) ごみの適正処理
- 2 産業廃棄物対策 の推進
- (1) 産業廃棄物の発生抑制 (2) 産業廃棄物の適正処理
- 3 環境美化の推進

の推進

- (1) 環境美化の推進
- 水資源の有効利
- 用の推進
- (1) 水資源の有効利用の推進

- 6. 都市環境 「市街地と森林・農業地域の
- 1 安全で快適なま
- (1) 災害に強い都市整備の推進 (2) 予防対策と災害時の対応の仕組

- 良さを活かし、誰もがいつ までも安全で安心して暮 らせるまち」
- ちづくり (3) 福祉に配慮した快適なまちづくり
- 2 景観の保全と創
- (1) 良好な景観の形成
- 3 環境にやさしい 交通体系
- (1) 公共交通の充実 (2) 歩行者・自転車にやさしいまちづく
- (3) マイカー利用の抑制
- 1 環境教育推進の 仕組みづくり
- (1) 環境教育の推進と評価
- (2) 人材育成 (3) 環境教育プログラムの拡充

## 環境教育

「未来を見据え、地域を動 かす環境教育」

#### (4)計画の推進

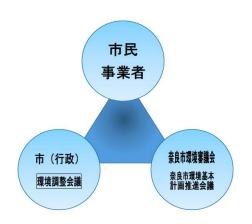
奈良市環境基本計画(改訂版)を総合的かつ計画的に推進していくために、指標を用いて施策の進捗状況を点検・評価し適切な見直しを図るとともに、市民、事業者、市(行政)が連携・協働する仕組みを形成し、推進体制を整備充実させ、計画の実効性を確保します。

#### • 環境基本計画推進会議

環境基本計画の推進に当たっては、中心となる懇談会として環境基本計画推進会議を開催し、市民、事業者、市(行政)、奈良市環境審議会の協働による計画の進捗管理を行い、着実な推進を図ります。

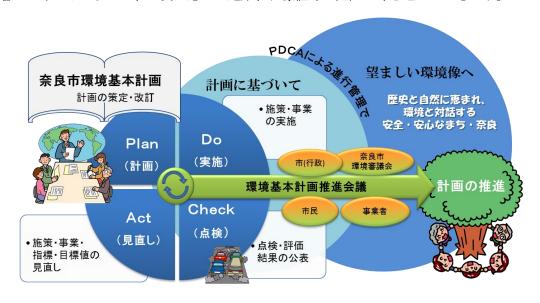
#### • 環境調整会議

庁内の施策推進組織である環境調整会議で、庁内 各担当部課の横断的な連携により環境施策の総合的 な調整を図っています。



#### 4 環境基本計画の進捗状況及びその評価

環境基本計画(改訂版)では、計画の着実な推進を図るため、PDCAサイクルによる進行管理を重要としています。そのため、分野別施策に対して参考となる指標を設けています。各指標の目標値に対する年度末現状値及び施策の進捗状況については、行政による達成度の点検・評価とともに、その自己評価結果に対する環境基本計画推進会議による意見や環境審議会による第三者的評価を併せて、総合評価とする形をとっています。環境基本計画推進会議での評価コメント結果については、各施策の実施部署にフィードバックし、必要に応じて施策、目標値等の見直し等を進めていきます。



#### 5 分野別施策に対する指標と評価結果

#### (1)評価方法

•項目評価

指標ごとに、4つの評価項目(単年度達成度、進捗率、波及効果、効率性)について評価します。

#### <評価基準>

評価点 項目	5点	4点	3点	2点	1点
甲生世	単年度目標をほぼ達成している。 (達成率85%以上)	単年度目標を75%以上達成している。	単年度目標を50%以上達成している。	単年度目標を25%以上達成している。	ほぼ未着手 (達成率25%未満)
進捗率		最終目標に順調に近づいている。 (最終目標達成率80%以上)	最終目標に近づいている。 (最終目標達成率70%以上)	最終目標に少し近づいてい る。 (最終目標達成率60%以上)	最終目標に近づいていない。 (最終目標達成率60%未満)
波及効果		社会・市民・事業者などに好 影響を与え、事業継続により、	がある程度認められ、事業継 続により、今後の発展を見込	環境改善や社会的な好影響 があまり認められないが、改 善すれば事業継続の余地が ある。	環境改善や社会的な好影響 が認められず、事業継続によ る今後の発展が見込めない。
効率性			効率性は適当であると認めら れる。	改善の余地がある。	抜本的な見直しが必要であ る。

※効率性評価は、事業のやり方、進め方、成果に対して、コストが適切なものになっているか評価します。

#### • 総合評価

4つの評価項目それぞれについて採点し、点数化された結果を基に、指標ごとの総合評価をまとめます。

総合評価	合計点数
A	13点以上 (11点以上)
В	9点~12点(8点~10点)
С	6点~8点(5点~7点)
D	5点以下(4点以下)

※( )内の記載は、単年度達成率が評価できない場合の総合評価の基準です。

### (2)評価結果

### 【総括】

指標	総数	28	推進会議のコメント
	Α		コロナ禍のため実施できなかったイベント等があったものの、おおむね計画通りに施策が進められ目標を大きく上回った指標
総合	В	11	も多くあり、高く評価できる。地球温暖化の影響による異常気象が頻発していることから、緩和策だけでなく、市民の生活や命を守る適応策も重要課題として、人的な配置と予算措置が大切であり、将来への投資と位置づけ、奈良市も率先してゼロカーボン宣言を行い、県をはじめ宣言をした県内外自治体とともに、国にも働きかけて一歩でも進めてもらいたい。また、本来の古
評 価	С	2	都の魅力を市民一人ひとりが自覚し、その長所をより伸ばして魅力的な奈良にしようという意志を持つことが必要であることから、行政だけでなく、事業者や個人が同じビジョンを目指すような啓発活動を期待する。また、次期計画の策定に当たっては、より分かりやすい指標や評価方法の検討を行うとともに、SDGsの取組を環境政策に取り込み、持続可能な社会の実現に向け
	D		た活動の推進を期待する。さらに、すべての分野のベースとなる環境教育についても、より実効性のある推進を期待する。

#### 1. 地球温暖化対策

### 【省エネルギーの推進】

1 1 -	1.72	1 0	1正/压】							
	指標		<u> </u>	<sup>2</sup> 成29年度	平成30年度	令和元年度	目標値 (令和12年度)	担当	関連ページ	
	温室効果ガス (千t−CO₂)		1,685		685 1,472 1,436		1,362	環境政策課	19~23	
2013年度比削減率(%)			13.4	24.3	26.2	30				
単年度 達成率	進捗率	波及 効果	効率性		推進会議のコメント					
5	4	3	3							
総合	総合評価 前年度からの進		らの進捗	土はの旧中共用	ᆥᅩᆉᆔᆔᄝᅼᇅᄆᄺᄷᇅᇎ	54. <b>~</b> * <b>c</b>   <b>c</b>		·	+ 0	
А		*	**		せガス排出量は目標値に こネ・創エネ・蓄エネ対策を		くおり評価できる。 200	00年カーホンニ	ユートフルを日	

	指標			令和元年度	令和2年度	目標値 (令和2年度)	担当	関連ページ			
	の事務及 温室効: (t-CO <sub>2</sub> )			42,028 41,633 44,200			環境政策課	24~26			
				※実績値は、当該年度の排出係数(電気)を使用した場合[変動係数]の数値です。							
単年度 達成率	進捗率	波及 効果	効率性		推進会議のコメント						
5	4	3	3								
総合	総合評価 前年度からの進捗			・ 単年度目標を大きく達成して	単年度目標を大きく達成していることは高く評価したい。市民および事業者への省エネ・節電意識の向上には、市の						
,	A 現状維持		伏		とめ、業務改善、設備投資等、市の施 を良市の事務及び事業における温室を						

	指標		<b></b>	<sup>2</sup> 成30年度	令和元年度	令和2年度	目標値 (令和3年度) (平成30年度からの累計)	担当	関連ページ	
LED街路	各灯の導	入(灯)	515		646 (単年度 131)	1075 (単年度 429)	1850 (道路照明灯)	道路維持課	30	
					※NEXT4事業(水銀灯・蛍光灯	のLED化)は平成29年度末で完	記了し、平成30年度以降は道	i路照明灯のLED化	を進めています。	
単年度 達成率	進捗率	波及 効果	効率性		推進会議のコメント					
4	4	4	3							
総合	総合評価 前年度からの進捗 街路灯のI FD (		街路灯のLED化	は極めて費用対効果の調	高い省エネ施策であり、N	EXT4事業の目標をほ	ぼ達成したこと	は評価でき		
A 現北 維打			る。高効率機器・	への交換は、温室効果ガるものと思われ、道路照	スの削減だけではなく、	光熱費の削減にもつな	がり、市民や事			

## 【再生可能エネルギーの利用】

	指標			令和元年度	令和2年度	目標値 (令和2年度)	担当	関連ページ				
家庭用之置割合(		電の設		11.5	12.2	15.0	環境政策課	28				
単年度 達成率	進捗率	波及 効果	効率性	推進会議のコメント								
4	3	3	3									
総合	評価	前年度か	らの進捗									
,	A 現状 維持		<u> </u>		・用太陽光発電の普及促進に大きく貢創エネ導入促進のための新たな支援			ジリエンスに				

## 2. 自然環境

## 【自然環境の保全と創造】

	指標			平成23年度	令和2年度	目標値 (令和3年度)	担当	関連ページ
外来種	草本類の在来種数及び 外来種の比率(外来種 率)(%)			都祁野:215種 15.4% 大柳生:203種 22.2% 矢田丘陵:217種 21.1% 登美ケ丘:134種 30.9% 佐紀:135種 30.1% 奈良公園:77種 11.5%	令和2~3年度に調査実施	在来種数を維持する		
	鳥類の種数及び個体数 (密度) (羽/ha)			52種 127羽/ha	-	現状を維持する	環境政策課	_
哺乳類(%)	哺乳類の外来種の比率 (%)			20.8	-	外来種比率を下げる		
					※自然環境調査については平成	23年度に実施し、以降10年	ごとに実施する予算	定となっています。
単年度 達成率	進捗率	波及 効果	効率性		推進会議のコメン	<b>ル</b>		
-	-	3	3					
総合	評価	前年度か	らの進捗	市民が市内の在来種や外来	種の生息状況やその比率を知り、生	物多様性の必要性を理	里解することは重	重要である。自
-				然環境調査の実施結果は市	民や子どもたちに分かりやすい冊子( として活用を図ってもらいたい。			

## 【農林業の振興】

	指標			令和元年度	令和2年度	目標値 (令和3年度)	担当	関連ページ				
	人工林における間伐の 布業面積(ha)			135.33	166.36	200	農政課	-				
単年度 達成率	進捗率	波及 効果	効率性	推進会議のコメント								
5	2	3	3									
総合	評価	前年度か	らの進捗	カーボンニュートラルの実現に	カーボンニュートラルの実現には、森林整備による吸収源の確保が必須である。森林環境譲与税を有効に活用し、人							
,	7				、新たな価値が創造できるような間伐							

	指標			令和元年度	令和2年度	目標値 (令和3年度)	担当	関連ページ			
	れあい交 売所)(匿			6	令和元年度で事業廃止	10	農政課	42			
単年度 達成率	進捗率	波及 効果	効率性		推進会議のコメント						
-	-	3	2								
総合	·評価	前年度か	らの進捗	生産者と消費者のふれあい	生産者と消費者のふれあい交流は地場産の新鮮で安心・安全な農作物の消費を促進し、地産地消の推進に寄与す						
-			_	るとともに、温室効果ガスのi 展を期待したい。	削減にもつながる。出張販売の依頼と	請負のマッチングに力	を入れていたか	ごき、更なる発			

	指標			令和元年度	令和2年度	目標値 (令和3年度)	担当	関連ページ			
	と業地域と市街地との を流参加者数(人)			79	新型コロナウイルス感染拡大防止のた め、令和2年度の事業は中止	100	都祁行政 センター 地域振興課	41			
単年度 達成率	進捗率	波及 効果	効率性		推進会議のコメント						
-	-	3	3								
総合	評価	前年度か	らの進捗	市民の地産地消の意識向ト	のためにも交流会は重要である。新	型コロナウイルスの出	現により、都市	部の若者の自			
		然回帰と意識を変えたことも	あり、就農にもつながる可能性がある が地の交流促進を図っていただきたい。	。感染予防対策方法の							

	指標			令和元年度	令和2年度	目標値 (令和3年度)	担当	関連ページ				
	産学校給 消率(%)			48.64 41.0 50			保健給食課	42				
単年度 達成率	進捗率	波及 効果	効率性	推進会議のコメント								
4	1	3	3									
総合	·評価	前年度か	らの進捗	傾向としては奈良県産学校約	   傾向としては奈良県産学校給食食材地産地消率が年々増加しており、高く評価できる。本事業は、地産地消、食の安							
E	В				観点から重要であり、さらには児童生 つながる。引き続き「古都ならの日」の							

### 3. 歴史環境

## 【歴史・文化遺産の保護と活用】

	指標			令和元年度	令和2年度	目標値(累計) (令和3年度)	担当	関連ページ
ける伝統	奈良町(旧市街地)にお ける伝統的建造物の保 存整備事業件数(件)		66 (単年度 9)	71 (単年度 5)	100	奈良町にぎわい課	44~48	
単年度 達成率	進捗率	波及 効果	効率性		推進会議のコメン	<b>ル</b>		
3	3	4	3					
総合	·評価	前年度か	らの進捗	写真資料を用いた指導を行うことで指導効率が向上し、相談者により分かりやすい指導につながったとのことであり、 さらに事業自体に問題点がないか等、把握検証に努めるとのことで、地道ではあるが丁寧な進め方であり大いに評価				
,	A 現 維				々に発信され、訪れる人が増えてい			

			<u> </u>							
	指標			令和元年度	令和2年度	目標値 (令和3年度)	担当	関連ページ		
なら工藝館入館者数 (人)				43,664	20,275	65,000	産業政策課	-		
単年度 達成率	進捗率	波及 効果	効率性		推進会議のコメン	<b>ル</b>				
2	1	2	2							
総合	評価	前年度か	らの進捗	令和3年度は、施設の改修署	&備と運営コンサルティング業務委託(	こより、感染対策の徹	底と訴求力の向	1上が見込ま		
(	c .			れるため、この機会を有効に	â和3年度は、施設の改修整備と運営コンサルティング業務委託により、感染対策の徹底と訴求力の向上が見 いるため、この機会を有効に活用したいとのことであり、今までにないオンラインでの参加やSNSを活用した周気 着者や観光客が気軽に参加できる工夫などによる訴求力を期待したい。					

	指標		令和元年度		令和2年度	目標値 (令和3年度)	担当	関連ページ	
	奈良伝統工芸後継者育 成研修修了者数(人)		11		11	14	産業政策課	-	
単年度 達成率	進捗率	波及 効果	効率性		推進会議のコメン	<b>ル</b>			
5	3	3	3						
総合	·評価	前年度か	らの進捗	研修生が作品制作に打ち込	研修生が作品制作に打ち込みながら、イベント協力や製作実演等市の事業に協力してもらい、サポート体制を整				
,	A		<b>」</b>		が順調に行われているということで評년 めてもらいたい。また、奈良伝統工芸 <sup>・</sup>				

## 4. 生活環境

## 【大気環境の保全】

	指標			令和元年度	令和2年度	目標値 (令和3年度)	担当	関連ページ
	光化学オキシダント環境 基準の達成率(%)			91 95		環境基準の達成率 向上を目指す	保健·環境 検査課	65~77
単年度 達成率	進捗率	波及 効果	効率性		推進会議のコメン	<b>ル</b>		
5	1	2	3					
総合	評価	前年度か	らの進捗	近隣都市や大陸からの越境汚染のため目標達成は難しいと思うが、環境基準の達成率向上を図るべく、今後も引き				
E			_ \	続き、光化学スモッグ緊急連 図ってもらいたい。	絡体制を実施するとともに、国・県・近	隣自治体と連携した位	域的•長期的	対策で改善を

### 【音・振動・臭気環境等の保全】

	指標			令和元年度	令和2年度	目標値 (令和3年度)	担当	関連ページ
自動車騒音・環境騒音 の環境基準達成率(%)				100	100	100%を維持する	保健·環境 検査課	78~87
単年度 達成率	進捗率	波及 効果	効率性		推進会議のコメン	<b>ル</b>		
5	4	3	3					
総合	評価	前年度か	らの進捗	環境測定のほか、騒音・振動	に係る事業者への注意喚起や立入詞	関査の実施、苦情の際	の現場確認や	指道等積極的
,	А		大 持		環境基準達成は高く評価できる。今後			

### 【水環境の保全】

	指標			令和元年度	令和2年度	目標値 (令和3年度)	担当	関連ページ		
市内河川のBOD環境 基準達成率(%)				87.5	100	100%を維持する	保健·環境 検査課	88~95		
単年度 達成率	進捗率	波及 効果	効率性		推進会議のコメン	<b>ル</b>				
5	4	3	3							
総合	評価	前年度か	らの進捗	今和元年度に環境其準を達!	令和元年度に環境基準を達成できなかった地点も令和2年度は環境基準を達成できたことは大いに評価できる。今					
,	А		状持		えてこれが、パースの一般では、 では、 でしていただくとともに、 澄んだ川等					

## 【その他の生活環境対策の推進】

	指標			令和元年度	令和2年度	目標値 (令和3年度)	担当	関連ページ	
別措置	ダイオキシン類対策特別措置法に基づく特定施設の立入調査(%)		累計80 (単年度 20)	累計100 (単年度 20)	累計100 (令和3年度から令和7年 度にかけて全事業場を立 入調査)	保健·環境 検査課	104~105		
単年度 達成率	進捗率	波及 効果	効率性	推進会議のコメント					
5	4	3	3						
総合	評価	前年度か	らの進捗	日標通り全事業場の立入を行	テえたことは評価できる。立入を行うこ	とにより、事業者に設	備の適正な維持	寺管理や法令	
,					ることから、今後も、計画的な立入調				

	指標			令和元年度	令和2年度	目標値 (令和3年度)	担当	関連ページ
事業者によるダイオキシ ン類測定の徹底(%)			100 事業場のうち8事業場)	100 (8事業場のうち8事業場)	100	保健·環境 検査課	104~105	
単年度 達成率	進捗率	波及 効果	効率性		推進会議のコメン	<b>ル</b>		
5	4	3	3					
総合	·評価	前年度か	らの進捗	全事業場で測定が行われて	いることは高く評価できる。地道な指導	草が重要であり、ダイス	トキシン類の発	生抑制のため
,					は一定程度理解を得られていると評値			

## 5. 資源循環

### 【一般廃棄物対策の推進】

	指標			令和元年度	令和2年度	目標値 (令和3年度)	担当	関連ページ
	ごみ搬入量 (再生資源搬入量を除 く。)(t)		89,771		85,858	91,000		
家庭系	家庭系ごみ搬入量(t)		56,313		56,443	53,700	廃棄物 対策課	31~36
事業系	事業系ごみ搬入量(t)			33,458	29,415	37,300		
単年度 達成率	進捗率	波及 効果	効率性	推進会議のコメント				
5	4	4	3					
総合	総合評価 前年度		らの進捗	コロナ禍において、家庭系は	微増、事業系は減少という結果となっ	っており、withコロナ時イ	弋における家庭	系ごみの削減
,	Α		***		部署等の関係機関と連携し、引き続き 業者や市民と共に推進していくことを		組むとともに、脱	<b></b> プラスチック

### 【産業廃棄物対策の推進】

<b>L</b> //	C//L/C	1747.3714	1 шис	-4				
	指標			平成29年度	令和2年度	目標値 (令和3年度)	担当	関連ページ
産業廃 率(%)	産業廃棄物の最終処分 率(%)			0.8	-	0.5	廃棄物 対策課	113
※平成29年度実績まで法定の産業廃棄物処理計画実施等状況報告書に、独自項目を追加して集計を 平成30年度実績から独自項目の設定が出来なくなったため集計で								
単年度 達成率	進捗率	波及 効果	効率性		推進会議のコメン	<b>ル</b>		
_	-	3	3					
総合	総合評価 前年度からの進捗			***	N++10=11 +1+1 -1 -1 -1 -1 -1 -1	<b>丰</b> ** * * * * * * * * * * * * * * * * *	4:44mz t u	o + +11 = 1.1
-	-		-	産業廃棄物排出量の把握方 進めることで、なお一層の啓	法を検討し実施してもらいたい。また. 発を期待する。	. 事業者のリサイクル書	<b>性進を図るため</b>	の仏報沽動も

	指標			令和元年度	令和2年度	目標値 (令和3年度)	担当	関連ページ	
野外焼	不適正処理(不法投棄、 野外焼却等)件数のパト ロール総箇所数に対す る割合(%)			7	5	2	廃棄物 対策課	113	
単年度 達成率	進捗率	波及 効果	効率性	推進会議のコメント					
2	2	3	3						
総合	評価	前年度か	らの進捗	立入検査や監視パトロールの実施により不適正処理や違法焼却の啓発と抑止力が高まり、令和2年度の不適正処理					
E	В		状持		とは評価できる。引き続き事業者への				

## 【環境美化の推進】

	指標			令和元年度	令和2年度	目標値 (令和3年度)	担当	関連ページ		
またはれ	不法投棄警告センサー または不法投棄防止カ メラ設置箇所数(箇所)		23	23	28	まち美化推進課	113			
単年度 達成率	進捗率	波及 効果	効率性		推進会議のコメン	<b>ル</b>				
-	1	3	2							
総合	評価	前年度か	らの進捗							
(	c				向で一定の効果が表れていることは 者の発見、厳しい指導により、不法投			要な場所への		

	指標			令和元年度	令和2年度	目標値 (令和3年度)	担当	関連ページ	
アダプトプログラム活動 回数(回)				3,211	3,353	2,100	地域づくり推進課	50	
単年度 達成率	進捗率	波及 効果	効率性	推進会議のコメント					
5	4	4	3						
総合	総合評価 前年度が		らの進捗	↑ 」コロナ禍にもかかわらず単年度目標を大きく上回ったことは評価できる。しみんだより、ホームページ、				NS. ボランティ	
A		<b>現</b> :	<u>,</u>		参加が増えるような広報活動を行って				

## 【水資源の有効利用の推進】

	指標			令和元年度	令和2年度	目標値(累計) (令和3年度)	担当	関連ページ
雨水タン数(件)				730 (単年度 32)	760 (単年度 30)	1,000	環境政策課	27~28
単年度 達成率	進捗率	波及 効果	効率性		推進会議のコメン	<b>ル</b>		
2	1	3	3					
総合	総合評価 前年度か		らの進捗	ー   雨水タンク設置は市民が誰でも簡単にできる省エネ・省資源の有効な手段であるものの、補助事業を見直				
E	в		大持	ポイント制度に移行しても、作	ト数が伸びない原因は何なのか分析 ちくの市民にメリットを感じてもらえるよ	する必要がある。写真		

## 6. 都市環境

## 【安全で快適なまちづくり】

	指標			令和元年度	令和2年度	目標値 (令和2年度)	担当	関連ページ		
住宅の	住宅の耐震化率(%)			85.3	88.7	95	建築指導課	-		
単年度 達成率		波及 効果	効率性		推進会議のコメン	<b>ル</b>				
5	2	2	2							
,,,,,	総合評価 前年度からの進捗 現状 維持			各耐震補助事業の募集件数	7大地震に対する備えとして住宅の耐まで達しないのが現状であるとのこと まで達しないのが現状であるとのこと きを増やすなど耐震化工事を検討する	は、大変残念である。	継続して広報活	<b>舌動を実施して</b>		
	指標			令和元年度	令和2年度	目標値 (令和2年度)	担当	関連ページ		
耐震性(基)	貯水槽の	設置数		43	43	47	消防局消防課	-		
単年度 達成率		波及 効果	効率性		推進会議のコメン	<b>ル</b>				
5	5 1 3 3									
総合	総合評価 前年度からの進		らの進捗 <b>ト</b>	大規模災害に備えた耐震性	貯水槽の整備は必要不可欠である。	予算化されない年度も	あることから、[	国庫補助金の		
	B 機			財源を確保した上で、計画的	に設置を進めてもらいたい。					

	指標			令和元年度	令和2年度	目標値 (令和2年度)	担当	関連ページ		
自主防				100	100	100	危機管理課	-		
単年度 達成率	進捗率	波及 効果	効率性		推進会議のコメント					
5	4	3	3							
総合	評価	前年度か	らの進捗							
,			7		の実効性・継続性について懸念され					

	指標			令和元年度	令和2年度	目標値 (令和2年度)	担当	関連ページ	
応急手	応急手当受講者数(%)			22.8	22.9	25.0	消防局 救急課	1	
単年度 達成率	進捗率	波及 効果	効率性	推進会議のコメント					
5	1	2	2						
総合	総合評価 前年度か		らの進捗				2 - W - <del></del>		
E	В		大 持		かしており、応急手当は今後ますまで 講団体拡大及び普及啓発活動を推進		思于当の重要¶	生と必要性に	

# 【景観の保全と創造】

	指標			令和元年度	令和2年度	目標値 (令和2年度)	担当	関連ページ
市民1人公園面積	、当たり <i>0</i> 漬(m²/人			6.7	6.6	6.7	公園緑地課	48
	大規模公園を含む場合 (m <sup>2</sup> /人)			24.5	23.9	21.2	公園秘地味	40
単年度 達成率	進捗率	波及 効果	効率性		推進会議のコメン	ナ		
-	- 3 3		2					
総合			<u> </u>		民の憩いの場である。既存公園及び そ心に利用できる公園整備を計画的に		域との調整を図	りながら、地
E	В		t i	域の――人に合うに女主です	がいに利用できる公園金舗を計画的に	-進めてもらいだい。		

	指標			令和元年度	令和2年度	目標値 (令和2年度)	担当	関連ページ	
	グリーンサポート制度に よる公園管理率(%)			34 35 40		40	地域づくり推進課	48	
単年度 達成率	進捗率	波及 効果	効率性	推進会議のコメント					
5	3	3	3						
総合	総合評価 前年度か		らの進捗	多様な世代の市民参加の促	進や、既存の参加者の活動継続のた	めのポイント付与の什	-組み構築など	こより、グリー	
,			状持	ンサポート制度による公園管	理率が向上していることは評価できる こ公園管理を行う仕組みへの移行に	。地域内でより幅広し			

## 【環境にやさしい交通体系】

	指標			令和元年度	令和2年度	目標値 (令和2年度)	担当	関連ページ	
	パークアンドサイクルラ イドの利用者数(人)			4,505	1,151	3,200	環境政策課	40	
単年度 達成率	進捗率	波及 効果	効率性	推進会議のコメント					
3	1	3	3						
総合	総合評価 前年度が		らの進捗	令和2年度はコロナ禍のため	、大幅に利用者数が減少したが、令和	11元年度には日標値を	大幅に上回っ	ており、高く評	
E	В		***	価できる。認知度も高く、観光	在客誘致にもつながるため、県や事業 いうイメージを定着させ、更なる促進	者、他部署との連携を	図りながら、自		

# 7. 環境教育

### 【環境教育推進の仕組みづくり】

	指標			令和元年度	令和2年度	目標値 (令和3年度)	担当	関連ページ		
学校園での環境出前講 座開催数(講座)			122	22	150	環境政策課	52			
単年度 達成率	進捗率	波及 効果	効率性	推進会議のコメント						
2	1	3	3							
総合	評価	前年度か	らの進捗	コロナ禍の中、奈良市地球温暖化対策地域協議会(NEW)の環境出前講座では、小学校、保育園、幼稚園、						
E			1 <del>1.</del>		ルたのは素晴らしい。次世代を担う子と がるため、今後も環境団体と連携してい					

	指標			令和元年度	令和2年度	目標値 (令和2年度)	担当	関連ページ			
1	市営青少年野外体験施 設の利用者数(人)			10,881	4,495	12,200	地域教育課	-			
単年度 達成率	進捗率	波及 効果	効率性		推進会議のコメント						
2	1	3	3								
総合	総合評価 前年度点		らの進捗		青少年の健全育成のための教育・体験活動として、自然の中でのキャンプ活動、野外体験活動等の学習の機会は環						
E	В		大 持 持	さらに魅力的な事業を実施す	をあり、コロナ禍でも工夫して事業を進るともに、さらなる広報活動の拡充 育成のための教育・体験活動の場と	と、利用者の満足度を	高めるための対	力果的な施設			

			,							
			1			口插法				
	指標			平成28年度	令和2年度	目標値 (令和3年度)	担当	関連ページ		
	環境保全活動に参加したいと思う市民の割合 (%)			56.7	調査していない	75	環境政策課	ı		
					※市民意識調査については平成22年度、平成28年度に実施しました。					
単年度 達成率	進捗率	波及 効果	効率性		推進会議のコメント					
-	1	3	3							
総合	総合評価 前年度からの進捗		らの進捗	市民の環境保全意識の向上、行動変容は、環境問題解決の上で非常に重要である。現状を伝え自分に何ができる						
		-	か考えてもらうきっかけとなる	るような情報発信や啓発活動を実施す たい市民の割合を高めていくことに期	るとともに、関心の薄					